

回想（第10回記念総会にて）

高校12期（1960年卒） 大賀 康孝

高校12期の大賀康孝です。いつもOB・OG会からご案内をいただき、ありがとうございます。川上会長、先輩の方々のご尽力と幹事の皆様のお陰で第10回の記念総会が、開催され心からお祝いを申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。高津ハンドボール部現役の皆様が、青春を謳歌され益々のご活躍をされることを期待しております。

昭和34年(1959年)春の新人戦で優勝をし、近畿大会3位になった時の記憶を交えて、かいつまんでお伝えしたいと思います。

1959年春は、11人制による大会であった。当時のフォワードは、橋本浩一、西原康夫、キャプテン浅野和郎、生野宙孝、林毅(高校13期)の5人であったが、同期4人(橋本、西原、浅野、生野)全員が1988年から2008年の間に鬼籍に入ってしまった。浅野と生野は、共に、京大法学部に入学しました。入試を終えるとすぐ、合格発表前に京大のハンドボール部の合宿入りをしておりました。それも前年キャプテンの石崎寿夫さんが在部されておられたからだったと思われま。浅野は京大卒業後、東京銀行に入行して、船場支店に在籍中迄現役プレーヤーとして活躍しておりました。一方、生野は、在学中に退部して、学業に励むことに方向転換したようです。西原は、慶應義塾大学経済学部に入學してハンドボール部で活躍しておりました。橋本は、高校ではスキーの選手も兼ねており、ハンドボールではレフトウイングのサウスポールの

ポイントゲッターでした。

以下、鬼籍に入った順に同期の4人の追悼をしておきたいと思います。

橋本浩一氏は、関西学院大学経済学部を卒業後、住友商事に入社して、1976～80年シドニーに駐在、その後、1986年からサンフランシスコに赴任して、商社マンとして活躍していました。88年に体調を崩し、帰国して治療に努めましたが治癒せず若くして亡くなりました。

西原康夫氏は、レナウン入社後、高級婦人既製のレリアンに転じ、営業本部長専務として営業総責任者のまま現職で逝去いたしました。

浅野和郎氏は、2003年3月15日にイオンクレジットサービスの会長職で大阪出張中に現職のまま急死をいたしました。前日に宗右衛門町の「新市」で、東京銀行、イオンクレジット、高津の仲間達と会食をした翌朝の出来事でした。ハンドボールプレーヤーとして卓越した人物であった彼は、また、東京、ニューヨーク、ロンドン市場で、活躍した為替の世界でのトップディラーで、東京銀行の歴史にも名を刻む3人衆の一人でした。彼は、1993年に取締役ロンドン支店長を委嘱され、その後、東京三菱銀行の常務取締役となり合議役員入りを果たしました。銀行役員を退任した後、イオンクレジットの代表取締役会長となり、海外戦略を担って活躍しておりました。横浜銀行の元副会長藤川雍中氏は東大が京大の定期戦に連敗を記録したのは、京大に浅野あり

と畏敬の念で、語っておられました。いまだに早すぎた逝去を惜しんでおられます。

(現在はエバラ食品工業相談役、東京大学ハンドボール部OB)

生野宙孝氏は、2007年5月に丸和証券相談役で、亡くなりました。京大を優秀な成績で卒業し、日本興業銀行に入行して、産業調査部エネルギー担当の主任研究員となり、エコノミストとして活躍をしておりました。業務委員会を経て1992年取締役資金証券部長を委嘱され、銀行役員退任後、丸和証券の社長、会長を歴任して、相談役に就いておりました。彼は、興銀系の丸和証券でありながら系列の証券会社との合併を選択せず、単独の道を選びました。その丸和証券は、関連2社を合併して、2007年9月に(株)証券ジャパンが誕生致しました。彼

が、丸和証券の中興の祖と云われている由縁であります。

同期のフォワード4人全員が鬼籍に入ったことは、真に慙愧に堪えません。ご冥福を祈ります。

優勝時の同期のボックスは、徳山二三夫(レフトハーフ)、白井康裕(センターハーフ)、大賀康孝(ライトハーフ)、小林良三(フルバック)の4人で、全員が幸い健在である。フルバック田中聰吉(高校13期)と、ゴールキーパー増田健(高校13期)の2名を含めて6名は元気であり、同期の部員も同様に壮健です。

近畿大会出場に関して、同期が集まると、練習をそれまで通り続けて、全員で参加すべきであったと後悔と反省の話になります。

平成25年(2013年)7月6日



昭和34年(1959年)春
新人戦優勝時のボックス

キ
増田 徳山 白井 大賀
パー
13期



小林 田中
13期